

織物の産地として発展してきた桐生市には、ものづくりの伝統が息づいている。

繊維産業のみならず機械金属工業を中心とした製造業でも、類いなき技術を有し、優れた製品やユニークな独自商品を開発、生産している事業所が数多く存在する。

そこからつくり出されたものに注目し、「ものづくりのまち桐生」の魅力を再発見したい。

ガラスアート

ガラス工房 Merhaba (メルハバ)



独自の“ロールアップ技法”から産み出される色とりどりの美しさ

ガラス工房メルハバは、一点一点手作りで色鮮やかなコップ・皿・酒器・花瓶・風鈴・香立て等の商品製造販売を行っている。

代表の小林大輔氏は、地元の高校卒業後名古屋芸術大学美術学部造形科に入学。在学中にトルコへの短期留学でガラスモニュメントの技を学び、卒業後箱根のガラス工房で修行を行った。平成23年に桐生市新里町に工房を構え、現在に至る。

同工房の商品は、“ロールアップ”という技法から生み出されるカラフルなデザインが特徴的である。ステンドグラスの製法からヒントを得、平らに敷き詰めたガラス片を丸めて筒状にすることで、美しいモザイク模様の器が作られる。この技法を用いているガラス工房は全国でも稀である。

工房名の“メルハバ”とはトルコ語で「こんにちは！」という意味であり、そのキャッチーな感性は商品デザインにも現れている。工房では吹きガラス体験も行うことができ、初体験の子供の参加も受け付けている。

同工房の商品は、現在渋谷ロフト6階の展示イベント「Flying art APARTMENT」にて展示中。また、4月5日(金)～4月10日(水)にかけて桐生市本町3丁目パンセギャラリー(蒲焼泉新隣り)にて開催の展示会「GALLERY PENSEEの手づくり市」にて展示予定であり、都内では4月18日(木)～4月24日(水)にかけて渋谷ヒカリエでも展示予定と精力的に活動している。

企業名 ガラス工房 Merhaba (メルハバ)

所在地 〒376-0121 桐生市新里町新川2062

電話 090-3146-5127 E-mail merhaba201@gmail.com